

評価規準（令和２年度） 【社会】 ５ 学年

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本の国土とわたしたちのくらし	【知技】世界地図や地球儀を使って、日本の国土や世界の国々の位置などを読み取り、それぞれの資料の特性を捉えている。(発)(ノ)		
日本の国土と世界の国々	【知技】世界の大陸と主な海洋、主な国の名称と位置を地球儀や地図からの確に読み取っている。(発)(ノ)		【態】世界の国々や大陸、海洋、日本の国土の様子について、主体的に調べようとしている。(発)(ノ)
日本から世界へ、世界から日本へ(1)	【知技】地球儀を活用し、日本と他の国とのおおまかな距離や方位、緯度や経度を的確に読み取っている。(行)(ノ)		
日本の国土のすがた (1)	【知技】日本の国土の東西南北の端や、国土のおおまかな構成について理解している。(ノ)(テ)(発)		
日本の国土はどこまで？ (1)	【知技】日本の領土や領海、排他的経済水域の範囲をおおまかに理解し、それらをめぐる課題があることを把握している。(発)(ノ)		
<まとめる> (1)		【思判表】世界の国々・大陸・海洋との位置関係、緯度・経度、国土を構成する島々などをもとに、日本の国土の特色についてさまざまな言い表し方を考え、適切に伝え合っている。(発)(ノ)	
国土の気候と地形の特色 変化の大きい日本の自然 (1)		【思判表】日本各地の気候の違いから見いだした疑問をもとに、学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ)	【態】日本各地の気候の違いの原因について予想を話し合い、それをもとに主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)

気温と地形との関係 (1)	【知技】地図資料から、日本の主な山地や山脈、平野、河川などを的確に読み取り、国土の地形の特色や気温との関係をおおまかに捉えている。(行)(ノ)		
日本のさまざまな気候 (1)	【知技】各地の気候の違いを複数の資料から的確に読み取り、国土の気候の特色や季節風と地形との関係をおおまかに捉えている。(発)(ノ)		
<まとめる> (1)		【思判表】世界の国々・大陸・海洋との位置関係、緯度・経度、国土を構成する島々などをもとに、日本の国土の特色についてさまざまな言い表し方を考え、適切に伝え合っている。(発)(ノ)	
自然条件と人々の暮らし あたたかい地域と寒い地域、 高地と低地 (1)	【思判表】暖かい地域と寒い地域、高地と低地との比較をもとに、自然条件の特色と暮らしや産業との関係を問う学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ)		
学習問題について予想して、 学習計画を立てよう (1)			【態】自然条件に特色のある地域の暮らしや産業についての予想を話し合い、それをもとに学習計画を立て、主体的に学習問題を解決しようとしている。(発)(ノ)
あたたかい気候と沖縄県の観光 (1)	【知技】沖縄県で暮らす人々が冬でも暖かい気候を観光に生かしている様子を、複数の資料を関連づけて読み取っている。(発)(ノ)		
あたたかい気候と沖縄県の農業・漁業 (1)	【知技】沖縄県で暮らす人々が冬でも暖かい気候を農業や水産業に生かしている様子を、複数の資料を関連づけて読み取っている。(発)(ノ)		

暑さや台風と，沖縄県の人々のくらし（１）	【知技】沖縄県で暮らす人々が夏の蒸し暑さや台風，水不足に備えた工夫をしている様子を，複数の資料を関連づけて読み取っている。（発）（ノ）		
高地の自然条件と，野辺山原の農業（１）	【知技】野辺山原で暮らす人々が，夏でも涼しい高地の自然条件を農業に生かしている様子を，複数の資料を関連づけて読み取っている。（発）（ノ）		
高地の自然条件と，野辺山原の酪農・観光（１）	【知技】野辺山原で暮らす人々が，高地の自然条件を酪農や観光に生かしている様子を，複数の資料を関連づけて読み取っている。（発）（ノ）		
あれ地や寒さと，野辺山原の人々のくらし（１）	【知技】野辺山原で暮らす人々が，高地の厳しい自然条件を克服する努力を重ねながら暮らしてきた様子を，複数の資料を関連づけて読み取っている。（発）（ノ）		
<まとめる>（２）	【知技】野辺山原で暮らす人々が，高地の厳しい自然条件を克服する努力を重ねながら暮らしてきた様子を，複数の資料を関連づけて読み取っている。（発）（ノ）		
自然条件と人々のくらし <せんたく> 寒い気候と北海道の観光（１） <せんたく> 寒い気候と，北海道の農業・漁業（１）		【思判表】暖かい地域と寒い地域，高地と低地との比較をもとに，自然条件の特色と暮らしや産業との関係を問う学習問題をつくり，表現している。（発）（ノ）	
<せんたく> 寒さや雪と，北海道の人々のくらし（１）	【知技】北海道で暮らす人々が冬の寒さや雪に備えた工夫をしている様子を，複数の資料を関連づけて読み取っている。（発）（ノ）		

＜せんたく＞ 低地の自然条件と、佐原北部 の農業（１）	【知技】佐原北部で暮らす人々が、豊富な水と 平たい土地が広がる高地の自然条件を農業に 生かしている様子を、複数の資料を関連づけて 読み取っている。（発）（ノ）		
＜せんたく＞ 低地の自然条件と、佐原北部 の観光（１）	【知技】佐原北部で暮らす人々が、低地の自然 条件を観光に生かしている様子を、複数の資料 を関連づけて読み取っている。（発）（ノ）		
＜せんたく＞ 水害と、佐原北部の人々のく らし（１）	【知技】佐原北部で暮らす人々が、低地での厳 しい水害を克服する努力を重ねながら暮らし てきた様子を、複数の資料を関連づけて読み取 っている。（発）（ノ）		
未来を支える食料生産 ＜オリエンテーション＞ 全国からとどく食料	【知技】様々な種類の食料の産地を資料からの 確に読み取り、自分たちが食べている食料は、 日本や世界の各地から運ばれてきていること を捉えている。（発）（ノ）		
米づくりのさかんな地域 米はどこから？（１）	【知技】国内の米の主な産地の分布につ て、資料からの確に読み取っている。（発） （ノ）		
米の産地は、どんなところ？	【知技】南魚沼市の自然条件の特色と米づくり との関係について、複数の資料を関連づけて読 み取っている。（発）（ノ）	【思判表】これまでの学習をもとに、南 魚沼市の米づくりについて調べたいこ とを整理して学習問題をつくり、表現し ている。（発）（ノ）	
学習問題について予想して、 学習計画を立てよう （１）			【態】これまでの学習や生活経験などを 根拠にして、南魚沼市の米づくりについ て予想を話し合い、それをもとに学習計 画を立て、主体的に追究しようとしてい る。（発）（ノ）

一年間の米づくり (1)	【知技】米が収穫されるまでには、春から秋にかけて様々な作業があること、天候や土の状態が影響することを理解している。(発)(ノ)		
安全でおいしい米をつくるために (1)	【知技】農家の人たちが、様々な工夫や技術を取り入れて、安全や環境に配慮した米づくりを進めていることを捉えている。(発)(ノ)		
よりよい米づくりをめざして (1)		【思判表】昔より時間をかけずに多くの米を生産できるようになった理由について、根拠をもって予想し、表現している。(発)(ノ)	
作業しやすくするために (1)	【知技】短い労働時間で多くの米を生産するために、米づくりに携わる人々がこれまで様々な工夫や努力をしてきたことを捉えている。(発)(ノ)		
おいしい米をとどける (1)	【知技】米の流通の流れや、そこに関わる人々の働き、米の値段に含まれる費用について、資料からの的確に読み取っている。(発)(ノ)		
米づくりがかかえる課題 (1)	【知技】複数の資料を関連づけて読み取り、日本の米の生産量が消費量とともに減少してきたことや、米づくりの現状にはいくつかの課題があることを捉えている。(発)(ノ)		
これからの米づくり (1)	【知技】米づくりに関わる人たちが課題を乗り越え、地域での生産を続けていけるよう様々な工夫や努力をしていることを捉えている。(発)(ノ)		

＜まとめる＞（１）		【思判表】米づくりにおける様々な変化や課題，それに関連する人々の工夫や努力などについて調べたことを総合して，米づくりを進めるうえで大切なことを考え，適切に表現している。（ノ）（テ）	【態】今まで学習したことを生かして，これからの米づくりに対する自分の考えをまとめようとしている。 （発）（ノ）
水産業のさかんな地域 さまざまな水産物を求めて （１）		【思判表】主な水産物の種類や産地の分布などを資料から読み取り，それをもとに水産業について調べたいことを整理して学習問題をつくり，表現している。 （発）（ノ）	
北海道・根室のさんま漁（１）	【知技】漁師さんたちは様々な漁船の設備を使い，長年の経験を生かしながら魚群を見つけ，魚の習性を利用してさんまを獲っていることを資料からの確に読み取っている。（発）（ノ）		【態】予想や学習計画を立てて，主体的に学習問題を解決しようとしている。 （発）（ノ）
漁港で働く人々（１）	【知技】新鮮なさんまを衛生的に出荷するための工夫や努力，さんまの値段の決まり方，漁や出荷にかかる費用について理解している。（発）（ノ）		
さんまを消費者のもとへ（１）	【知技】さんまが産地から消費地へ届くまでには，様々な輸送の方法やそれに関わる人たちの工夫や努力があることを資料からの確に読み取っている。（発）（ノ）		
鹿児島県・長島のぶり養殖 （１）	【知技】ぶりを育てるうえで必要な環境や設備，作業について資料からの確に読み取り，養殖業の特色や仕事上の工夫や努力について捉えている。（発）（ノ）		

水産業の変化と課題 (1)	【知技】複数の資料を比べたり関連づけたりして読み取り, 日本の水産業の現状をおおまかに把握し, 安定的に水産業を営むうえでいくつかの課題があることを捉えている。(発)(ノ)		
世界の国々との関わりの中で (1)	【知技】資料を的確に読み取り, 安定した水産業を続けるためには世界の国々への働きかけが大切になってきていることを捉えている。(発)(ノ)		
持続可能な水産業をめざして (1)	【知技】水産業に関わる人たちは, 安定した生産を続けていけるよう, 水産資源の管理や水産物の販売促進において様々な取り組みを進めていることを捉えている。(発)(ノ)		
<まとめる> (1)		【思判表】水産業に関わる様々な人々の工夫や努力について整理したことを総合して, 品質や安全性に配慮していること, 様々な変化や課題に対応しようとしていることなどを考え, 適切に表現している。(ノ)(テ)	【態】今まで学習したことを生かし, 安全で質の高い水産物をこれからも生産し続けるために大切なことについて, 自分の考えをまとめようとしている。(発)(ノ)
これからの食料生産 外国からもとどく食料 (1)		【思判表】資料から読み取ったことをもとに, これからの食料の生産や輸入に関する学習問題をつくり, 表現している。(発)(ノ)	【態】これからの食料の生産や輸入に関して予想を話し合い, それをもとに学習計画を立て, 主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
食料の輸入がもたらすもの (1)	【知技】食料を輸入することの長所と短所について, 資料を的確に読み取って整理し, 安定的な食料の確保のためには国内生産の果たす役割も大きいことを捉えている。(発)(ノ)		

未来へのさまざまな取り組み (1)	【知技】国内の食料生産を発展させていくための取り組みについて、生産や販売、消費など多角的に捉えている。(発)(ノ)		
<まとめる> (1)		【思判表】食料生産に関わる人々の働きや、消費と生産の関わりなど、調べてわかったことをもとに、これからの食料生産の発展について考え、適切に表現している。(発)(ノ)	【態】調べたことを生かして、これからの食料生産の発展や食生活のあり方について自分の考えをまとめようとしている。(発)(ノ)
未来をつくり出す工業生産 <オリエンテーション> 工業製品とわたしたちの暮らし	【知技】生活の中で様々な工業製品が使われていることや、人の手が加えられ改良されてきた工業製品によって生活が向上してきたことを捉えている。(発)(ノ)		
自動車の生産にはげむ人々 変わってきた自動車 (1)		【思判表】自動車の車体や性能、生産の様子の変化について資料から読み取ったことをもとに、現在の自動車生産について予想し、学習問題をつくるために考え、表現している。(発)(ノ)	
自動車生産のひみつをさぐる う (1)	【知技】工場全体の様子について、写真や地図などを互いに照らし合わせるなどして、具体的に読み取っている。(発)(行)		【態】自動車生産について、予想したことを確かめたり、不明な点を整理したりして学習計画を立て、主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
大量に、むだなく、一つずつ (1)	【知技】自動車生産はラインに沿って人とロボットが作業を分担したり、こまめに検査したりすることによって、品質を大事にしつつ効率的に進められていることを理解している。(発)(ノ)		

大量生産を支えるくふう (1)	【知技】大量生産を進めるうえで必要な、作業のミスを防ぐ工夫や、働きやすい環境を整える取り組みについて、複数の資料からの確に読み取っている。(発)(ノ)		【態】これまでの学習を踏まえて、まだわかっていないこと(新たな問い)を見いだして学習計画に書き加え、追究しようとしている。(発)(ノ)
部品はどこから？ (1)	【知技】自動車生産を支える関連工場の役割や、関連工場と自動車工場との結びつきについて理解している。(発)(ノ)		
完成した自動車のゆくえ (1)	【知技】自動車が工場から消費地へ届くまでには、様々な輸送手段やそれに携わる人たちの工夫や努力があること、輸送しやすい場所に工場が立地していることを資料からの確に読み取っている。(発)(ノ)		
新たな機能を生み出す人たち (1)	【知技】様々な部門の人たちが協力して、消費者のニーズを反映しながら、新しい自動車や機能の開発を進めていることを捉えている。(発)(ノ)		
さまざまな願いに応える自動車づくり (1)	【知技】環境にやさしい自動車、あらゆる人にとって利用しやすい自動車の生産など、多様な人々のニーズや社会の動向を反映した生産が進められていることを捉えている。(発)(ノ)		
<まとめる>(1)		【思判表】自動車の生産や輸送、開発に携わる人々の工夫や努力について整理したことを総合して、社会に必要とされる製品や優れた製品を消費者に届けようとしていることなどを考え、適切に表現している。(発)(ノ)	【態】これまでの学習を生かし、様々な消費者のニーズや社会の課題に対応する今後の自動車生産の可能性について、自分の考えをまとめようとしている。(発)(ノ)

日本の工業生産と貿易・運輸 自動車は世界へ (1)		【思判表】自動車の輸出や原油の輸入に関する資料から読み取ったことをもとに、日本と外国との貿易関係についての学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ)	【態】日本と外国との貿易関係について予想し、それをもとに学習計画を立て、主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
主な輸出品と輸入品 (1)	【知技】日本の輸出入の現状について複数の資料を関連づけて読み取り、日本の貿易の特色を捉えている。(発)(ノ)		
国内の工業生産を支える貿易 (1)	【知技】日本の工業にしめる輸出入品の割合、主な貿易相手先などについて、必要な情報を資料から読み取り、日本の工業生産における貿易の役割を捉えている。(発)(ノ)		
貿易を支える港と輸送手段 (1)	【知技】資料から読み取ったことをもとに、様々な輸送手段の特色について整理して、工業生産や貿易における運輸の役割を捉えている。(発)(ノ)		
<まとめる> (1)	【知技】日本の輸入から輸出までのおおまかな流れを図に整理し、貿易や運輸が工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。(ノ)(テ)	【思判表】調べたことをもとに、工業生産と貿易・運輸のはたらきを関連づけながら、貿易や運輸の果たす役割について考え、適切に表現している。(発)(ノ)	
日本の工業生産の今と未来 さまざまな製品をつくり出す工業 (1)		【思判表】工業の種類、工業生産額の変化や割合などに関する資料から読み取ったことをもとに、日本の工業生産に関する学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ)	【態】日本の工業生産の現状について予想し、それをもとに学習計画を立て、主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)

工業のさかんな地域 (1)	【知技】工業がさかんな地域の分布や生産の割合が多い工業の種類を資料からの確に読み取り, それらの地域が生産や輸送に適した様々な条件を備えていることを捉えている。(発)(ノ)		
大工場と中小工場のちがい (1)	【知技】高い技術を生かした中小工場の生産の工夫や努力, 大工場との特色の違いなどを資料からの確に読み取り, 中小工場が日本の工業生産に果たす役割について捉えている。(発)(ノ)		
日本の工業生産の変化 (1)		【思判表】これまでに調べた事実を根拠にして, 日本の工業生産の特色を整理し, そこに見られる課題や日本の工業の未来を考え, 表現している。(発)(ノ)	【態】学習問題に即して調べてきたことを振り返り, さらに調べる必要があることなどを確かめ合い, 追究しようとしている。(発)(ノ)
増え続ける海外生産 (1)	【知技】海外生産が増加してきた理由やその影響について, 複数の資料をもとに日本と外国のそれぞれの立場から多角的に読み取っている。(発)(ノ)		
国内の生産が発展していくために～東大阪市の「ものづくり」～ (1)	【知技】中小工場の優れた技術や豊富なアイデアを生かした生産の様子, 生産を続けていこうとする人々の思いについて, 複数の資料から読み取っている。(発)(ノ)		
これからの工業とわたしたちの暮らし (1)	【知技】これからの社会に求められる様々な分野で工業製品の開発が進んでいることを複数の事例から読み取り, 工業生産の発展やその役割について, 人々の生活と関連づけて捉えている。(発)(ノ)		

<まとめる> (1)		【思判表】調べたことを分類・整理して日本の工業生産の強みと課題を理解し、日本の工業が発展するためにどの強みを生かしていけばよいか多角的に考え、適切に表現している。(発)(ノ)	【態】これまで学習したことを生かして、日本の工業生産の発展について自分の考えをまとめようとしている。(発)(ノ)
未来とつながる情報 <オリエンテーション> 身のまわりの情報	【知技】人々が生活の中で様々な情報を入手し、生かしている例を、イラストや写真から数多く読み取っている。(発)(ノ)		
情報を伝える人々とわたしたち 情報はどこから？ (1)		【思判表】調査結果や資料をもとに、多くの人が情報を得ているメディアを捉え、その情報の発信に関わる人々の取り組みについて学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ)	
放送局がつくるニュース番組ができるまで (1)	【知技】ニュースが伝えられるまでの流れや、放送局の人々の情報の扱いについて、資料から的確に読み取っている。(発)(ノ)		【態】前時までの学習や資料を根拠にして、放送局の取り組みについて予想し、それをもとに学習計画を立て、主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
ニュースにかける思い (1)	【知技】ニュース番組を制作する放送局の人々が気をつけていること、大切にしていることを、複数の資料を関連づけて読み取っている。(発)(ノ)		
マスメディアとしての責任 (1)	【知技】マスメディアが発信する情報と自分たちの生活とは深く関わっており、放送局の人々はその影響の大きさや責任を感じながら、伝える情報を選んでいることを捉えている。(発)(ノ)		

メディアの変化と、放送局の 取り組み (1)	【知技】各種メディアの特徴を比較しながら理解し、状況や入手したい情報に応じてメディアを使い分けことや、情報をより効果的に発信するために複数のメディアを活用することの必要性について考えている。(発)(ノ)		
<まとめる> (1)	【知技】放送局の人々の工夫や努力について整理し、マスメディアの情報が人々の生活に与える影響が大きいことや、その責任を感じ、重要な情報をより多くの人々にできるだけ速く、正確に伝えようとしていることを理解している。(発)(ノ)	【思判表】調べたことを根拠にして、マスメディアの情報発信における影響の大きさや責任と、自分たちの情報の受け取り方や生かし方を関連づけて考え、適切に表現している。(ノ)(テ)	
くらしと産業を変える情報通信技術 くらしの中に広がる情報通信技術 (ICT) (1)		【思判表】身近なICT活用例について捉えたことをもとに、ICTの活用が進む生活や産業の様子に関する学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ)	【態】ICTの活用が進む生活や産業の様子について予想し、それをもとに学習計画を立て、主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
店で活用する情報通信技術 (1)	【知技】商店で集めている情報の種類や量、情報が集まる仕組みやその流れについて、資料からおおまかに読み取り、この仕組みによって便利になっている点を捉えている。(発)(ノ)		
大量の情報を生かそうとする 人たち (1)	【知技】大量の情報を分析して活用する前と後の変化について、複数の資料から読み取り、ICTや大量の情報を活用することの利点と配慮すべき点を捉えている。(発)(ノ)		
観光に生かす情報通信技術 (1)	【知技】観光の分野でICTや大量の情報を活用しようとする動きがあることを、複数の資料から読み取り、その意味について捉えている。(発)(ノ)		
これからの情報通信技術とわたしたちのくらし (1)	【知技】ICTの活用が進むに従い、生活や産業の様々な面で変化が生じていること、情報の流出や情報格差などの課題に対応しなければならないことを捉えている。(発)(ノ)		

<まとめる> (1)		【思判表】I C Tの活用によって、誰が、どのように便利になっているかを整理して、それをもとにI C T活用の進展が暮らしや産業に与える影響をメリット・デメリットの両面から考え、適切に表現している。(発)(ノ)	【態】調べたことを生かして、I C T活用の進展が暮らしと産業に与える影響や、今後の情報活用のあり方について自分の考えをまとめようとしている。(発)(ノ)
国土の自然とともに生きる <オリエンテーション> 国土の自然がもたらすもの (1)	【知技】国土の豊かな自然環境の写真と、様々な自然災害や環境問題を示す写真を対比させながら読み取り、気づいた点などを挙げている。(発)(行)		
自然災害とともに生きる 自然災害と国土の自然条件 (1)	【知技】自然災害の種類ごとに、被害の様子や発生場所を資料からの的確に読み取り、自然災害の広がりや国土の自然条件との関連性を捉えている。(発)(ノ)		
くり返す自然災害 (1)		【思判表】日本の各地で様々な自然災害が繰り返し発生していることを複数の資料から捉え、大規模な自然災害から国民の命や生活を守る取り組みについての学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ)	【態】大規模な自然災害から国民の命や生活を守る取り組みについて予想し、それをもとに学習計画を考え、主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
大津波から暮らしを守るために (1)	【知技】津波の被害を防ぐ取り組みについて複数の資料から読み取り、今後の発生が想定される津波の被害を少なくするために、国や都道府県が中心となって、様々な対策や事業に取り組んでいることを捉えている。(発)(ノ)		
大地震から暮らしを守るために (1)	【知技】地震の被害を防ぐ取り組みについて複数の資料から読み取り、今後の発生が想定される大地震の被害を少なくするために、国や都道府県が中心となって、様々な対策や事業に取り組んでいることを捉えている。(発)(ノ)		【態】学習問題に即して調べてきたことを振り返り、さらに調べる必要があることなどを確かめ合い、追究しようとしている。(発)(ノ)

さまざまな自然災害からくらしを守るために (1)	【知技】各種災害の被害を防ぐ取り組みについて複数の資料から読み取り, 国や都道府県が中心となって進める自然災害の対策・事業の重要性や限界を捉えている。(発) (ノ)		
<まとめる> (1)	【知技】これまでの学習を表に整理し, 自然災害の発生には国土の自然条件が関連していること, 様々な災害から人々の生活や国土を守るために国や都道府県が対策・事業を進めていることを理解している。(発) (ノ)	【思判表】自然災害と国土の自然条件を関連づけたり, 自然災害の被害と国民生活を関連づけたりして, 自然災害への対策・事業の重要性や, 自然災害が多い国土で暮らす一人として取り組むべきことを考え, 適切に表現している。(発) (ノ)	
森林とともに生きる 日本の国土と森林／森林の中に入ってみよう (1)		【思判表】国土に占める森林の多さや, 森林が防災面で果たす役割を資料から読み取り, それをもとに森林と自分たちの生活との関わりについて学習問題をつくり, 表現している。(発) (ノ)	【態】森林と自分たちの生活との関わりについて予想し, それをもとに学習計画を立て, 主体的に追究しようとしている。(発) (ノ)
森林を身近に感じるくらし (1)	【知技】複数の資料から必要な情報を読み取り, 様々な森林のはたらきを挙げている。(発) (ノ)		
木を植えて育てる人々 (1)	【知技】森林を守り育てる人々の工夫や努力, 林業が抱える課題について, 複数の資料からの的確に読み取っている。(発) (ノ)		
森林を守り続けるための新しい取り組み (1)	【知技】人工林の手入れが適切に行われるよう, 林業を始める人を増やす取り組みや, 国産木材を活用する取り組みが進められていることを捉えている。(発) (ノ)		
森林を守るためにできることは (1)	【知技】森林の育成・活用につながる取り組みに様々な立場の人々が関わっていること, 生活や産業の様々な場面で森林とのつながりが見られることを捉えている。(発) (ノ)		

<まとめる> <つなげる> (1)		【思判表】調べたことを整理して森林と人々の生活との密接なつながりを捉え、森林保全につながる取り組みの中で自分にも協力できそうなことを選択・判断し、意見を適切に伝え合っている。(発)(ノ)	【態】これまでの学習を生かして、森林保全につながる取り組みの中で自分にも協力できそうなことを選択・判断しようとしている。(発)(ノ)
環境をとともに守る 青い空と海を取りもどしたまち (1)			【態】北九州市の環境の変化について資料から読み取ったことをもとに、生活環境を守る取り組みについての学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ) 【態】北九州市の環境を守る取り組みについて予想し、それをもとに学習計画を立て、主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
公害をなくすために (1)	【知技】市民・市・工場それぞれが公害をなくすために果たした役割を資料からの確に読み取り、地域で一体となって努力を重ねたことが環境の改善につながったことを捉えている。(発)(ノ)		
環境首都をめざして (1)	【知技】北九州市では、過去の公害の経験を忘れず、環境を守る様々な取り組みを現在も続けていることを捉えている。(発)(ノ)		
きれいな環境を、次の世代のために (1)	【知技】自然環境と生活との結びつきを複数の資料からの確に読み取り、健康に過ごせる環境を守り続けていくためには、その中で暮らす一人ひとりの協力が大切であることを捉えている。(発)(ノ)		
<まとめる> <つなげる> (2)		【思判表】調べたことを整理して公害防止や環境改善の取り組みの重要性を捉え、環境を守るために自分たちができることを考えたり、環境保全により多くの人が関わるために大切だと思うことを選択・判断したりして、意見を適切に伝え合っている。(発)(ノ)	【態】これまでの学習を生かして、環境を守るために自分たちができることを考え、環境保全により多くの人が関わるために大切だと思うことを選択・判断しようとしている。(発)(ノ)